

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公開番号】特開2003-159588(P2003-159588A)

【公開日】平成15年6月3日(2003.6.3)

【出願番号】特願2002-234666(P2002-234666)

【国際特許分類第7版】

C 0 2 F 1/28

E 0 3 C 1/086

E 0 3 C 1/10

【F I】

C 0 2 F 1/28 S

E 0 3 C 1/086

E 0 3 C 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月4日(2004.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吐出モードを切り換えるためのレバーを有し、そのレバーは両端部で回転可能に支持され、レバー操作時のクリック感を持たせるためのクリック機構が設けられている净水器であって、前記クリック機構として、レバーの動きを弁体に伝達するシャフトの一部に設けられたばねと、そのばねによって付勢される被付勢部材と、その被付勢部材の受納部とが設けられており、かつ、前記レバーの両端部は、蛇口の接続部を挟むように支持されていることを特徴とする净水器。

【請求項2】

前記シャフトが、レバーの操作に対応して回転し、かつ吐出モードに対応して各モード用の流出口を開閉することを特徴とする、請求項1に記載の净水器。

【請求項3】

前記レバーの動作方向が、净水器の上下方向であることを特徴とする、請求項1または2に記載の净水器。

【請求項4】

前記クリック機構によるクリック感が、前記レバーが所定のストローク分操作されたとき付与されることを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載の净水器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の净水器は、吐出モードを切り換えるためのレバーを有し、そのレバーは両端部で回転可能に支持され、レバー操作時のクリック感を持たせるためのクリック機構が設けられている净水器であって、前記クリック機構として、レバ

ーの動きを弁体に伝達するシャフトの一部に設けられたばねと、そのばねによって付勢される被付勢部材と、その被付勢部材の受納部とが設けられており、かつ、前記レバーの両端部は、蛇口の接続部を挟むように支持されていることを特徴とするものからなる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】